

魚津市定例記者会見 12月

日時：平成27年12月1日（火） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、
富山テレビ、チューリップテレビ、NHK、NICE TV、
ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、
企画政策課長

1. 市長からの説明事項

(1) 平成27年を振り返って

今年は、まち・ひと・しごと創生法によって地方創生の動きがいよいよ始まった。マイナンバーの通知も始まったが、順調に進んでいないといった声も聞かれる。魚津市の今年一年の主な出来事を振り返る。

- 1月 東京ドームで開催されたふるさと祭り2015にたてもんが参加し、曳き回しを披露。
- 2月 富山県東部消防組合がデジタル無線運用を開始。より迅速な対応が可能に。
- 3月 国道8号入善黒部バイパスが全線開通。
北陸新幹線が金沢まで開業。同日、あいの風とやま鉄道も開業。黒部宇奈月温泉駅と魚津市内を結ぶ相乗りタクシー「おもてなし魚津直行便」もスタートし、これまでの利用実績は予想どおり。
北陸新幹線開業に合わせ、埋没林博物館がリニューアルオープン。
- 4月 平成29年春に桃山運動公園で式典が開催される全国植樹祭に向け、市役所内に準備室を開設。
第35回しんきろうマラソンは4年連続で5,000名超が参加。
- 5月 第3回「よっしゃこい！CHOUROKU祭り」は初めて2日間の日程で賑わい創出。
- 6月 魚津港（北地区）が竣工。20数年かけて整備。
魚津市出身の千葉ロッテマリーンズ石川投手の応援ツアーを実施。
- 7月 市長のタウンミーティングを実施。（7～10月、地区ごとに）
- 8月 映画「魚津のパン屋さん」市内各所でロケ。市民の皆さんも多数出演。魚津のPRになった。
- 9月 県総合防災訓練を魚津市で開催。H26の豪雨災害を教訓に。
魚津の朝市20周年を迎える。11月に青溪セミナー（青年団出身の首長等の会）を魚津市で開催し、海の駅のロケーションと朝市の食事が好評。
- 10月 魚津市総合教育会議を開催。法改正に伴うもので、市長が座長になり、これからの教育について教育委員の皆さんと意見交換。

戦後 70 年の節目に平和祈念コンサートを開催。

11 月 台湾へ観光トップセールス。台湾観光協会会長、中華航空副社長、台北旅行業者等と懇談し、魚津市を P R。蜃気楼、たてもん祭りに大変興味をもたれた。3 月頃には旅行業者 40～50 人位が旅行の企画を目的に魚津市に訪れる予定になっている。

魚津工業高校ラグビー部が 35 年ぶり 2 回目の花園出場決定。

魚津の身の丈にあったいろんな取り組みをしてきたが、これについては市民の皆さんからたくさん協力していただいたことに感謝を申し上げる。地域振興会が中心となって魚津の地域創生をどのように図っていくかがこれからの鍵になってくるものと思う。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「台北国際旅行博覧会でのトップセールスに関して」

《記者からの質問》

来年 3 月に台湾から魚津市へ来るのは旅行業者か。夏のツアーを控えての視察なのか。

《回答》

台湾の旅行業協会の会長さんから、40 名ほどで訪問するので（旅行の）企画提案をしてほしいということであった。バスで市内の観光ポイントを案内するつもりで、雪のない時期がよかろうということで 3 月にした。視察後にさっそく旅行の企画をしてもらえれば魚津まつりに来てもらえるのではと期待をしている。

「北陸新幹線の開業効果等について」

《記者からの質問》

北陸新幹線の開業で魚津の観光にどう影響があったか。また、今後の課題は。

《回答》

関東方面からでは、東京から乗り換えなしで近くなった、黒部宇奈月温泉駅からも（魚津は）近いといった感想を聞いている。ただ、関西方面はじめ西への行き来は不便だ。ビジネスや観光で利用された人の声を聞き、新幹線開業効果はどうだったかを検証してみたい。

《記者からの質問》

おもてなし魚津直行便は来年は県補助がなくなるが、現在の体制で運行を続けるのか、それとも縮小するのか。要望が大きければ市単独で運行するのか。

《回答》

来年 3 月まで様子を見る必要があると思っており、打ち切るかどうかの結論はまだ出していない。宿泊施設等、関係業界と意見交換をさせてもらって来年もこの形でやるかどうかを決めていきたい。

「来年の任期満了を控えて」

《記者からの質問》

市長の任期が来年までだが、12月議会で（進退の）意思を表明されるのか。

《回答》

市議時代も含め20数年間選挙に関わってきたが、改選前の12月議会で首長の進退等についても議会でお尋ねがありそれに対応するのが慣例なので、議員のどなたかからそういうものがあるのではないかと、それに対してどう答えようかとまだ考えているところ。自分が意思表示をするのは（本会議の）質疑がある10日頃かなと思っている。

「中央通り名店街 トータルプラン発表会について」

《記者からの質問》

中央通り商店街をどうするかアイデアの発表なのか、それとも、（話が）こういう風にまとまってきましたという報告なのか。

《回答》

中央通り商店街の役員さんや商工会議所などで活性化協議会を立ち上げたが、その中で、中央通りをどうしたいかというビジョンを作ろうということになった。先進地の丸亀町商店街の視察などしながら、現在ビジョンを描いている。いくつかアイデアがあるということで、その発表の場を設けることになった。それをどう実現するかは次の段階であり、そこは行政も一緒になってメニューを考えていく。

「あいの風とやま鉄道 魚津駅の店舗開設について」

《記者からの質問》

あいの風とやま鉄道の魚津駅で、地場製品の販売やカフェなどの店舗を募集する記事が広報紙に載っていたが、具体的にどのような計画なのか。

《回答》

駅に向かって左側、JR時代は事務室だったスペース約100㎡弱を利用して、現在入っている売店（魚源さん）とは違った地場製品の販売等を企画し、出店者を募集している。建物はあいの風とやま鉄道の所有だが、その一部を市が借り受け、利用する。JRから経営が替わって駅が寂しくなったという一部の声もあり、市としては駅を中心に活性化を図りたいという思いがあった。あいの風とやま鉄道も駅舎を活用してほしいという意向で、スペースに余裕があるというので使わせてもらうことになった。

《記者からの質問》

市が駅舎を活用するのは珍しいケースではないか。

《回答》

本来なら、あいの風とやま鉄道さんがテナントを募集し、お土産屋さんなどが入

るのが理想かと思うが、なかなか出店の計画がなかったこともあり市で有効活用しようということになった。

《記者からの質問》

あいの風とやま鉄道から提供されるスペースは当初の予定よりも面積が小さくなり、出入り口は改札口から直接入れないなど物販でやれるのかという声もあるようだが、予定どおり募集しているのか。

《回答》

あいの風とやま鉄道の事務室スペースの関係から、利用できる面積は少し小さくなり、出入り口も改札口と直接行き来できるところには作れなくなった。しかしながら、現在外にある出入り口の間口をもっと広くするなど、できるだけ入りやすいようリフォームを工夫している。

《記者からの質問》

物販だけか、それともカフェなどの飲食店も入るのか。

《回答》

現在検討中。物販だけでなく飲み物など提供できないか関係者と相談中。

《記者からの質問》

開店までのスケジュールは。

《回答》

当初よりも、あいの風とやま鉄道との協議に時間がかかった。開業1周年までには間に合わせたいと考えている。

《記者からの質問》

もし応募がなかった場合、継続的に市が利用することになるのか。

《回答》

基本的にはあいの風さんから無料で貸していただけることになっている。観光案内所もすぐそばにあることから、人が集まり、そこで過ごせるような工夫やしかけをしていきたいと思っている。